

歓送会について

国際関係学院学生代表

日時：2016年12月6日（火）12:00-14:00

場所：ホテルニューオータニ東京

概要

歓送会ではまず初めに、日中経済協会と中日友好協会の代表者から挨拶があり、さらに今回の訪日活動へ参加した六大学の学生代表が、この8日間において自らが見聞きし、また体験したことについての感想を述べた。皆はいずれも日本へ素晴らしい印象を持ったようであった。日本企業の進んだ理念や大きな社会的責任感、日本人の優しさ、日本の美しい風景やきれいな空気などは、私たちに素敵な思い出として残った。また歓送会で印象深かったのは、中華人民共和国駐日本国大使夫人のスピーチであった。



(大使夫人によるスピーチの様子)

大使夫人は次のように述べた。「現在日中両国の関係は、経済、文化、教育等の分野においては良いものがあるが、私たちが知っての通り、両国の関係は友好的とは言えない状況である。その理由は両国における相互信頼が欠けているからであり、これは非常に重要な点である。日本人の中国への印象はニュースや各種メディアから得られるものに止まっており、彼らは中国がとても危険なため、旅行ましてや仕事にも来たくないと考えている。しかしこのような中国に対する実体験の欠如がこうした相互の不信感を日ごとに悪化させている。しかし幸いなことに、2007年から『走近日企・感受日本』の活動が展開されて以降、すでに500名以上の中国の大学生が日本を訪れており、これは日中両国の関係改善に大きな意義を有するものである。」最後に大使夫人は、私たちが今回の「走近日企・感受日本」活動を通じて感じた日本への印象を自分たちの家族や友人に伝え、彼らに本当の日本や日本人について知ってもらうことで、多少でも日中関係を前進させる役割を果たすことができれば、今回の訪日の甲斐もあったと言えるだろうとの期待を寄せた。

私個人について言えば、今回の活動では美しい風景以外に最も印象に残ったのは、日本人の他人への思いやりや気配りであった。工場や企業の見学を終える度に、そこの従業員の皆さんが私たちの姿が見えなくなるまで手を振

って別れを惜しんでくれたことは、今でも覚えている。この他、私のホストマザーは私が音楽好きと知り、ピアノ演奏と歌を聴かせてくれた。これには心から多くの感動が湧き出る思いがした。また彼女は、自身が大事にしているピアノの曲を紹介したり、私をつれて散歩したり、私のたくさんの質問にも答えてくれた。

今回の訪日活動において、私は多くの思いやりと温かみを感じることができた。こうした温かみは、正に私自身が将来同じような温かみを持った人となり、今後の人生においてこうした温かみをより多くの人へ届けるように促すものである。

知っていますか？

問:ホストファミリーはなぜ大学生をもてなすのか？

答:ある団員のホストファミリーは、自身が若い頃に中国の東北地方へ留学に行ったことがあったが、東北地方がとても寒いことを知らず、薄着でしかも目的地に向かうためのお金を持ち合わせてなく、また泊まる場所もなかった。その時、とある一人の中国人が彼に同情し彼を自分の家に招き、温かい服を着させて、さらに食事をご馳走した。ただ残念な事に当時彼は片言の中国語も話せなかったため、その中国人に感謝を述べることができなかった。そして彼は現在その時の無念を埋め合わせるために、当時の彼と同じ私たち大学生をもてなすホストファミリーとなっている。

感想

歓送会は私たちの今回の訪日活動における最後のイベントであり、席上では中国駐日大使館のスタッフや私たちをもてなしてくれたホストファミリーなど多くの方々と再会できた。しかしこれが最後の面会かもしれない。「歓」送会ではあるが、その時の私たちの心には名残惜しさが入り混じった複雑なものがあった。曾粵儀さんのホストファミリーがかつて一人で中国の東北地方へ留学した際に現地の人の手助けを受けたが、言葉の問題で恩人の連絡先をもらうことができず恩返しができないため、彼はこの恩を彼が関わる全ての中国人に返しているという話を聞いた。彼ら一家四人はこの日のためにお子さんの学校も欠席し、私たちの歓送会に参加し、彼の二人のお子さんは折り紙で作った風車を会場のすべての中国人学生に手渡し、私たちの乗ったバスが空港に向かう際には、私たちの姿が見えなくなるまで手を振ってお別れをしてくれた。こうした日中両国の民間の友情に私たちはとても感動した。また今回の8日間の訪日では、私たちは日本商会、企業、学校やホストファミリーなど日本の様々な方面から手厚い歓迎を受けた。この恩を私たちは忘れることなく、今回の8日間の出来事を帰国後に周囲の人へ伝えていきたい。日中両国の政治・外交関係は予測不可能ではあるが、私たちはできる範囲で日中両国の民間の友好を継続していくべきである。



(学生や教師が歓送会会場の入口でゲストを出迎える様子)